

区分：人文・社会科学

授業科目名	人間と文化（哲学のススム）				学期	曜日	校時
英語名	Humanity and Culture (Elementary Philosophy)						
担当 教官名	永嶋哲也	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期	水曜日 校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>哲学は普通「何の役にも立たない学問だ」と言われている。確かに、何か別のものへの実用的な応用がないという点では「役に立たない」という言い方は正しいと思う。しかし哲学的な思考態度は、哲学自体が何の応用もないだけに、逆にあらゆるものの役に立つとも言える。この講義では、そのような哲学的思考態度を身につけるための「哲学入門」を目指す。</p>							
テキスト、教材等							
<p>教科書は特に指定はしない。必要であればプリント等の資料を適宜用意する。 参考文献は講義中紹介する。</p>							
対象学生	成績評価の方法				教官研究室		
全学部	平常点、および学期末試験						
授業計画							
<p>哲学史上、あらゆる時代を通して常に問題とされてきたテーマが哲学にはある。例えば、存在、神、認識、言語、時間、真理、価値、等々である。これらのうちのいくつかを、一つのテーマあたり約3～4コマ程度使って順に取り上げる。</p> <p>今年度は、つぎのようなテーマを予定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間・・・流れているものは何か？ ・存在・・・「ある」ということはどういうことか？ ・行為・・・何かを「した」といえるのはどんなときか？ ・言語・・・言葉は何を意味しているのか？ <p>各テーマについて、なぜその問題が問われるのか、どのような仕方で問われるのかを説明し、そしてその問題に対して様々な人たちがどのような解決案を提出したかを紹介したい（それでも、そのような問題の一側面を扱うだけになるだろうけれども）。それに対して受講生の諸君がどのように考えるか、授業中のレポートという形で書いてもらおうと考えている。</p>							